

# 県調査の結果を踏まえた取組の充実に向けて

夏休みを控えて、学期末処理等に取り組む時期になりました。先週末には、岡山県学力・学習状況調査結果を各校へ送付しましたが、自校の結果はどうだったでしょうか？

県全体の結果からは、県教育委員会が推進してきた学力向上への4つの視点「落ち着いた学習環境」「授業改善」「生活習慣の改善」「学習習慣の定着」の成果が数値となって表れてきています。

学期末までの間に、1学期の学習内容の確実な定着を図りましょう。また、本調査結果を学力向上担当者が中心となり、児童生徒がどこにつまずいているのかを明確にした上で、夏季休業中の課題を全教職員で検討しましょう。

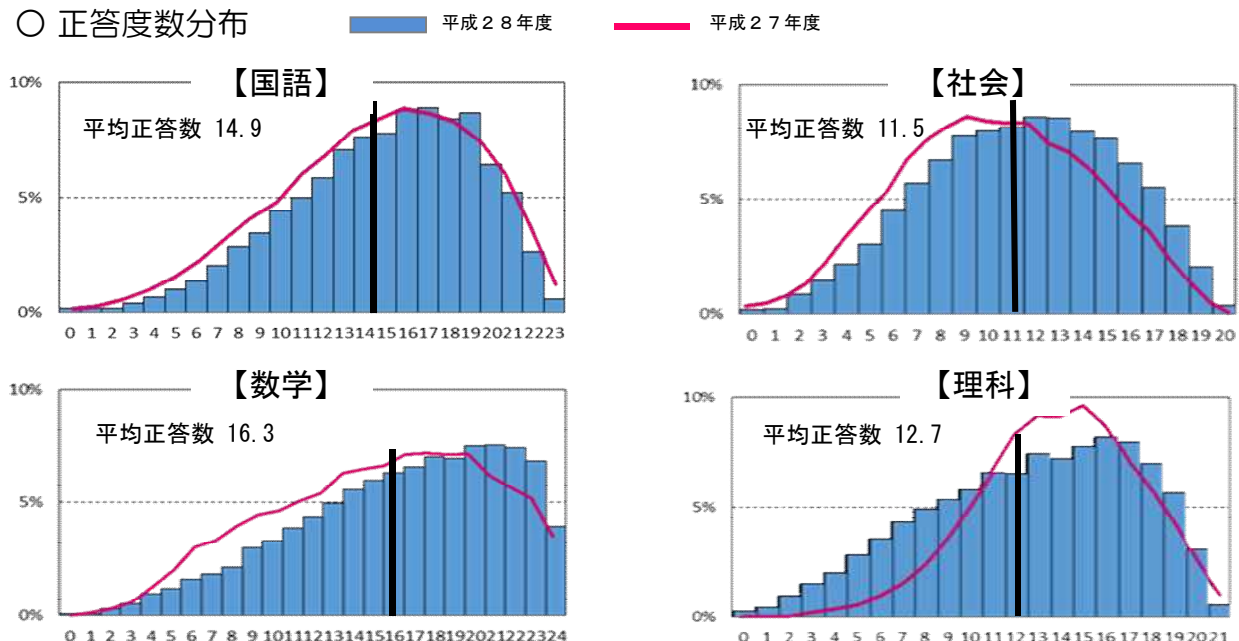
通常の夏季休業中の課題に加えて、個に応じた補充教材（ふりがえりプリント集や到達度確認テスト等）を準備し、水泳指導や部活動の前後の時間を活用して、児童生徒のつまずきを解消する指導を行いましょう。

## 【学力調査の結果】

○ 平均正答率〔%〕（下段はH27県調査平均正答率）

国語	社会	数学	理科	4教科
64.9	57.3	68.1	60.3	62.7
(62.7)	(51.6)	(63.4)	(65.7)	(60.9)

## ○ 正答度数分布



○同一問題、類似問題による過去の全国・県調査との比較では、4教科24問中16問で正答率が上昇しており、特に数学で大きな改善が見られた。

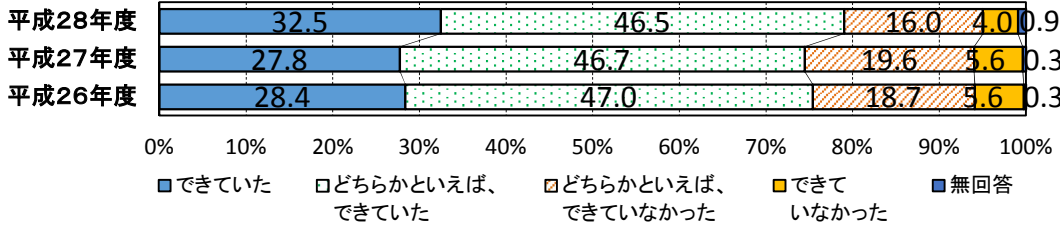
○基礎的・基本的な知識・技能に関する設問のうち、漢字の読み・書き取りや、類似問題で課題の見られた繰り下がりのある小数の減法〔6.79-0.8〕などで正答率が高く、着実な定着が図られている。また、九九〔7×6〕については98.4%が習得していた。

○漢字の書き取り〔沿岸：44.2%〕や、本県の地形を問う問題〔中国山地、瀬戸内海：36.8%〕の正答率が低く、基礎的・基本的な知識の定着については、更なる徹底が求められる。

## 【学習状況調査の結果概要】

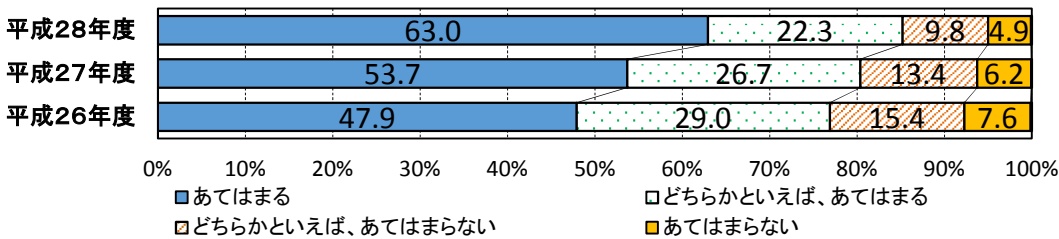
県教育委員会では「落ち着いた学習環境」「授業改善」「生活習慣の改善」「学習習慣の定着」の指標として、以下の調査項目に着目してきました。いずれの項目においても前年度から数値が向上し、改善が見られてきています。自校の調査結果とも比較をし、更なる改善に向けて取り組むことは何かを明確にし、全校で徹底して取り組んでいきましょう。

Q: 学校の授業で、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習ができていましたか。



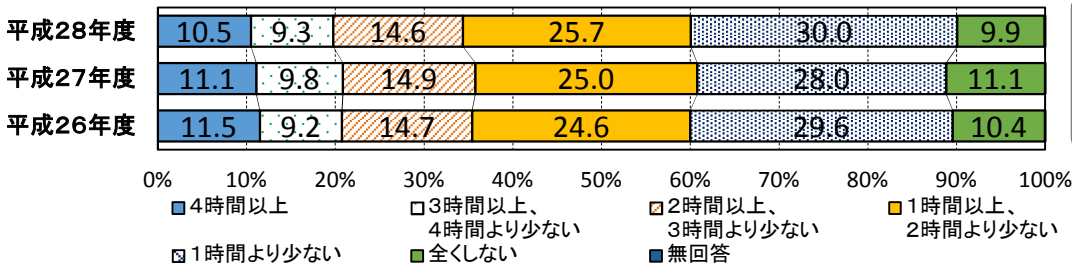
肯定的な回答をした生徒の割合  
 平成28年度：79.0%  
 平成27年度：74.5%  
 平成26年度：75.4%

Q: 授業の終わりに、学習のまとめや振り返りをしていましたか。



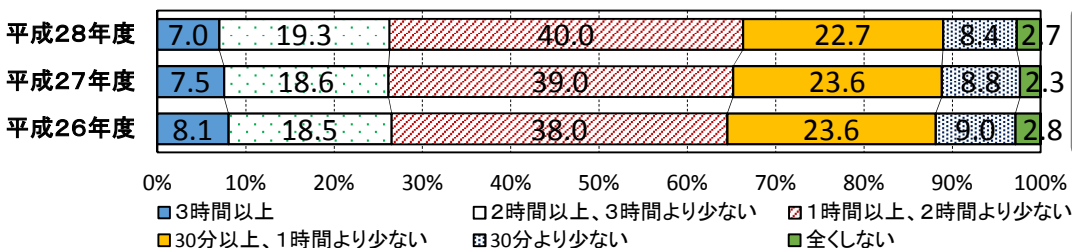
肯定的な回答をした生徒の割合  
 平成28年度：85.2%  
 平成27年度：80.4%  
 平成26年度：76.9%

Q: 学校の授業時間以外で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲームをふくむ。)をしますか。



「3時間以上」と回答をした生徒の割合  
 平成28年度：19.8%  
 平成27年度：20.9%  
 平成26年度：20.7%

Q: 学校の授業時間以外で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。



「1時間以上」と回答をした生徒の割合  
 平成28年度：66.3%  
 平成27年度：65.2%  
 平成26年度：64.5%

「何を」「いつまでに」「どこまで」「どのように」行うのかを明確にして取り組む。

6月30日  
学校へ調査結果到着

夏季休業中

2学期開始

11月

夏期休業中の  
課題の検討

水泳指導・部活動の前後  
の時間に補充学習を実施

授業改善  
補充学習

学力定着状況  
確かめテスト

授業改善  
補充学習

徹底することを明確にし、全員で徹底して取り組みましょう！